

ひらの ふざん

常設展示 平野富山 —清水が生んだ彩色木彫の名匠

於：静岡市清水文化会館マリナート ※写真撮影はご遠慮下さい。

テーマ：社寺奉納品の仕事

令和8年3月～6月 ※月曜休館

今期は、平野富山の社寺奉納品の仕事を取り上げます。富山はその生涯において、多くの社寺へ彩色木彫やブロンズ彫刻を奉納しています。代表的な作品に、神奈川県の大山阿夫利神社へ納めたブロンズ像《権田直助翁》(昭和38年)や和歌山県の高野山福智院へ納めた彩色木彫《孔雀明王》(昭和61年)がありますが、特に神奈川県寒川神社へ奉納した《神馬》(昭和52年)は、富山にとって自身最大規模の彩色木彫の仕事となりました。富山は等身大の白馬を制作するにあたって、純日本馬を研究するため最後の純血木曾馬と言われた第三春山号を長野に赴いて観察し、馬屋の中で2週間にわたって試作を重ねたといいます。完成した神馬は新築された総檜造りの神馬舎の中に設置され、2年後には左手に鈴、右手は馬の手綱を執る姿の《猿》(昭和54年)も納められました。

本展出品作の《神馬》(no.4)はこの寒川神社奉納品と同型で頭部だけの作品です。また、《神猿》(no.5)も奉納品の《猿》と同型ですが、奉納品では神馬の手綱を執る一方、出品作では右手に御幣を持つ姿で表されます。猿が神官に扮した姿は人体のようなスケールと迫真的な表情を持ち、圧倒的な存在感を放っています。

本展ではそのほか、愛嬌あふれる表情をした猿の縁起物《三番叟》など、富山初期の作品も紹介します。彩色木彫の技が光る富山の動物表現にもご注目ください。

【出品リスト】

作家名	作品名	制作年	材質	所蔵
1 平野富山	三番叟	昭和時代初期～昭和30年代後半	木、彩色	静岡市
2 平野富山	福ねずみ	昭和52年～平成元年頃	木、彩色	静岡市
3 平野富山	美粧 <small>※原型は 第81回太平洋展出品作</small>	昭和60年 <small>※FRPは没後制作</small>	FRP	静岡市
4 平野富山	神馬	昭和53年頃	木、彩色	静岡市
5 平野富山	神猿	昭和56年頃	木、彩色	静岡市